



求められる

シニア人材

横濱国立大学 教授
安藤孝敏 「あんどうたかとし」



とができ、「仕事上の先輩としてアドバイスや指導をしてくれる」、「人柄がよく、現状をより良くしようとする意志がある」というシニア人材と一緒に働くことを望んでいるという結果でした。

シニア人材のマッチング

さまざまな理由から、働き続けたい高齢者が多くなっています。また、高齢者に働き続けてほしい企業も増えてきています。経営者はさまざまなセールスポイントを持つシニア人材の中から自身の企業に適合する人材を見極めて採用する必要があります。当事者であるシニアは、これまでの知識や経験を活かすことだけでなく、企業（職場の若手・中堅層を含め）が求めるシニア人材に自分を近づける努力が必要であるといえます。

●1 特定非営利活動法人 YUVEC (2021)「シニア雇用ならびにシニアの働き方に関するアンケート調査の結果報告：2020年度版」

高齢者雇用安定法の改正

「改正高齢者雇用安定法」が4月から施行されます。今回の改正のポイントは、70歳までの高齢者について、安定した雇用と就業機会を確保するよう、企業に努力義務を求めるものであり、「65歳までは働く」という前回の改正の延長線上にあるといえます。そう遠くない将来、70歳までの就業機会確保が義務規定に移行する可能性も十分にあります。

シニア人材の評価や特徴

高齢者に働き続けてほしいという企業、特に中小企業では、人手不足ということもあり、シニア人材を積極的に雇用しているようです。シニア人材の採用にあたって、中小企業の経営者はどのような点を重視しているのでしょうか。職場の若手・中堅層はどのようなシニア人材と一緒に働くことを望んでいるのでしょうか。2020年に特定非営利活動法人 YUVEC が実施したアンケート調査^{●1}から、シニア人材の評価や特徴についてみてみます。

中小企業の経営者がシニア人材を採用する時に重視するポイントは、①「経験・専門知識・人脈」、②「コミュニケーション・健康」、③「人柄・やる気」の3つでした。すなわち、「これまで培ってきた専門性や人脈があること」、「社会人として仕事に取り組む上で必要なコミュニケーション能力や健康状態に支障がないこと」、「社交的な人柄で、仕事に対するやる気があること」の3つの視点からシニア人材の採用を検討していることがわかりました。

若手・中堅層が望むシニア人材のポイントは、①「自分の仕事の役に立つ、体力・健康不安がない、会社に役立つ資質がある、自ら手を動かす」、②「若手と良くコミュニケーションできる、文句/自慢話を言わない/押しつけをしない」、③「人柄がよい、現状を良くしようとする」、④「アドバイスしてくれる、自分の仕事の手本になる、指導してくれる」の4つでした。若手・中堅層は「会社に貢献でき」、「若手や中堅と協調して働くこ

老年学コミュニケーションペーパー

ジェロントロジー【老年学】とは、高齢者の生活にかかわる問題を解明し、

より良い高齢社会をデザインする科学です。

安藤研究室では、社会老年学、高齢者心理学、人と動物の関係学を中心に

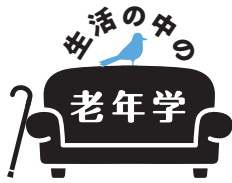
研究をしています。

2021 no.011

横濱国立大学

安藤研究室

ジェロントロジー Gerontology



相模女子大学・人間社会学部・社会マネジメント学科・准教授
松崎吉之助 [まつざき・きちのすけ]

高齢者の救急搬送について

増加する 高齢者の救急搬送と 減少する医療機関

近年救急車による医療機関への搬送件数が増加しています。平成11年には年間376万件だった搬送件数は、令和元年には598万人になりました^{●1}。搬送された方の約6割(360万人)が高齢者です。高齢化が進むにつれて、高齢者の救急搬送の件数も伸びていることがわかります。

救急車が体調の悪い方を搬送する先は救急医療を担当している医療機関になります。しかし、搬送先となる医療機関(二次救急病院)は都市部で減少傾向にあります^{●2}。そのため救急車が到着しても、その後の搬送先の医療機関を探すことに時間がかかるようになりました。例えば東京都の救急医療機関は平成10年には411ありましたが、平成23年には321にへと減少しています。一方で搬送件数は48万人から63万人に増加しています^{●3}。

搬送が遅れることの弊害

搬送が遅れると、治療の開始も遅れ、その結果入院期間も長引くこととなります。また住んでいる地域で医療機関が見つからない場合、遠方の医療機関に搬送される場合もあります。しかし一度遠方

の医療機関に搬送されると、その後元の地域に戻る可能性が低くなると言われています^{●4}。

急な病気になっても、できるだけ早く地域の医療機関で適切な治療を受けることが、住み慣れた地域で暮らし続けるためには不可欠です。特に高齢になると数日の入院等でも大幅に筋力・体力が低下することもありますので、その必要性は高いと言えます。

搬送の遅れの原因と 事前の準備

では、できるだけ早く地域の医療機関に搬送されるためには、どのような取り組みが可能なのでしょうか。実は、医療機関の減少の他にも搬送・治療の遅れに繋がる原因があります。

それは、搬送時に名前、病状や治療の希望などを把握することに時間がかかることです。特に家族からの情報収集が困難な一人暮らしの高齢者にとっては大きな課題です。八王子市では2011年から「救急医療情報シート」を高齢者世帯に配布しています。このシートは救急隊や医療機関のスタッフが搬送時に必要とする本人に関する情報を事前に記入しておくものです。実際にこのシートを使うことで、救急搬送に要する時間が3分以上も短縮されました^{●5}。

これからは一人で暮らす高齢者がどの地域でも増えていきます。多くの自治体で同様のシートが作られています。しかしシートは作るだけでは効果がありません。シートの確実な配布と記入、そして定期的な情報の見直しが不可欠です。これを本人任せにするのではなく、地域住民、消防、行政、医療や福祉機関など様々な人が協力して声を掛け合い、いざという時に備えることが大切です。

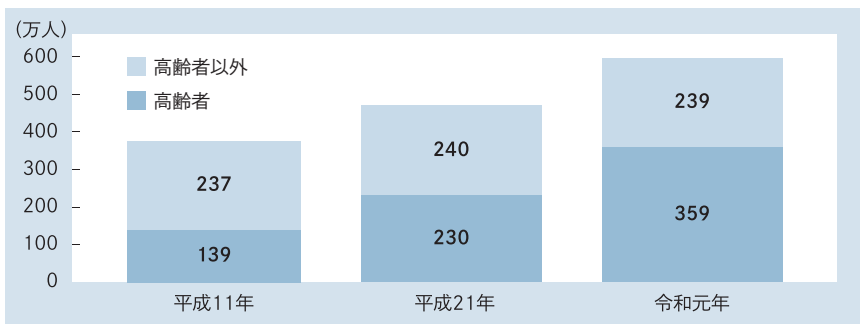


表1 ■救急搬送の推移 (消防庁 [2020] 「令和元年中の救急出動件数等 [速報値]」より改変)

- 1 消防庁 (2020) 「令和元年中の救急出動件数等 (速報値)」
- 2 東京都 (2016) 「東京都医療構想」
- 3 東京都福祉保健局 (2013) 「社会構造の変化に対応する救急医療体制について」
- 4 読売新聞「生と死を問う 第2部 救急と看取り4 住み慣れた地域へ搬送」2016年8月14日朝刊
- 5 東京消防庁八王子消防署 (2013) 「八王子市高齢者救急医療体制広域連絡会 (八高連) について」



『劇場版

ファイナルファンタジー XIV

光のお父さん』

横浜国立大学大学院・
環境情報研究院・非常勤教員

木村由香【きむら・ゆか】

このコーナーでは、シニア層と呼ばれる世代が楽しい時間・実りある時間を過ごすためのヒントになる映画を、勝手に「終活映画」としてご紹介しています。

今回は、『劇場版 ファイナルファンタジー XIV 光のお父さん』をご紹介します。ファイナルファンタジー（以下、FF）は、有名なRPGゲームのシリーズです。この映画では、ネットを通じて様々な人と一緒に遊べる、いわゆるオンラインゲーム版のFF版がモチーフ。普段、会話どころかまともなコミュニケーションすらままならない父と息子が、ゲーム世界の仲間となることで通じ合い共に感動し合う、そんなストーリーです。

『劇場版 ファイナルファンタジー XIV
光のお父さん』あらすじ

実家で父（吉田鋼太郎）、母、妹と暮らす会社員のアキオ（坂口健太郎）は、オンラインゲーム・FF XIVが好きなゲーマー。ある日、父が専務への昇進の前に突如会社を早期退職してしまいます。一日中テレビを見て過ごす父の姿に、何故？と疑問を抱くアキオ。ですが、アキオと父はまともな会話ができないほどの関係でした。父の本音を聞き出すために思いついたのが、「光のお父さん計画」。ネットゲームでは、操作するキャラクターを通してプレイヤー同士がやりとりするため、プレイヤーが実際にはどのような人なのか、その現実の姿はわかりません。だからこそ、本音が聞けることもあるのでは、と考えたのです。アキオは、父がFF XIVを始めるよう仕向けます。ゲーム世界で、アキオは正体を隠して父に近づき、仲間として共に冒険に出るのです。

「もっと感動したいです」

ゲーム内の剣と魔法の世界で、現実とは違う役割を持つことは、これまでの人生の経験が役に立たないこともたくさんあります。そのもどかしさと新鮮さとともに、広がる世界。アキオは、そんなぎこちない父の冒険を手助けします。「世の中にはまだまだ楽しいことや色んな居場所があるのだと知りました。だからもっと感動したいです」—父は、ゲーム世界で仲間たちと冒険を重ねるにつれ、より強い敵と戦い乗り越えたいと思うようになります。そして、皆で強大な敵にいざ立ち向おうとするその日、父は倒れてしまいます。



話せないことがあって当たり前

父が会社を突如辞めた本当の理由は、深刻な病気を患ったことでした。仕事というこれまでの目標や役割を失い、新たな何かを見つける気力も薄らいでいたのです。オンラインゲームは、父にとって新たな価値観を見出す転機となりました。アキオは最後、父に正体を明かします。対する父の答えは、やはりゲームを通じてだからこそ、素直に伝えられた気持ちなのかもしれません。

面と向かっては話せないこと、あるいは伝えたくないことは、日常でもしばしばあります。映画では、ゲームの世界を通すことでその垣根を超え本音が見えてきました。では、終活はどうでしょうか？ 核家族化が進み、異なる生活スタイルの親世帯と子世帯は、親子といえども「別」の世帯。さまざまなギャップがあり、話せないこと、理解が難しいこともあります。研究では、家族と話せないからこそその終活である^{●1}、というシニア世代の方々の気持ちが明らかとなっています。とすると、あえてダイレクトなコミュニケーションではない方法、終活を通すからこそ、わかり合えることもたくさんあるのかもしれません。

●1 木村由香、安藤孝敏（2015）エンディングノート作成にみる高齢者の「死の準備行動」『応用老年学』9(1), 43-54

『劇場版 ファイナルファンタジー XIV 光のお父さん』
©2019「劇場版 ファイナルファンタジー XIV 光のお父さん」製作委員会
©マイディー/スクウェア・エニックス
配給：GAGA（2019年 DVD/Blu-ray 販売・発売元：パップ）

【協力】

尾上正幸 終活・エンディングノートアドバイザー、終活映画ナビゲーター

高齢者の就業について

少子高齢社会の日本においては、労働力の高齢化についてもたびたび取り沙汰されてきました。図を見てみると、60～74歳の方で就業している人の割合がこの10年で10%以上増加しているのがわかります^{●1}。65歳以上の方の新体力テスト結果や健康寿命も全体的に向上傾向にあることから^{●1}、高齢になっても働く意欲の高い方が増えているとも言えるかもしれません。

労働災害について

ただ、それにともなって高齢者の労働災害発生も近年増加傾向にあると言われています。平成30年の調査では転倒は全産業で増加傾向にあり、転倒による死傷者のうち25.7%が60歳以上の女性であり、特に高齢の女性の転倒が休業4日以上労働災害となる傾向があると報告されています^{●2}。

産業理学療法について

ところであまりなじみがないと思いますが、「産業理学療法」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。明確な定義はまだないようですが、産業保健分野での理学療法を産業理学療法と呼んでおり、勤労者の健康障害予防や保持増進を目的としているとあります^{●3}。もともと理学



山増正樹 (やまます しょうき)

横浜国立大学大学院・環境情報学部
環境イノベーションマネジメント専攻・博士課程後期

労働人口高齢化と 産業理学療法

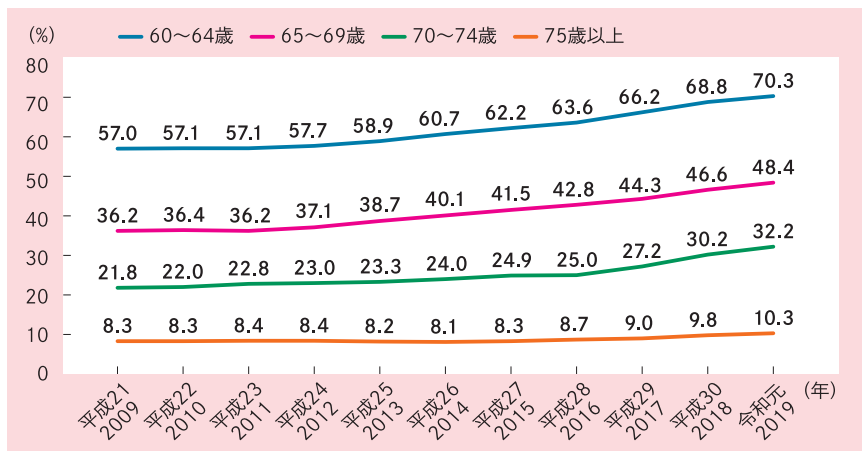
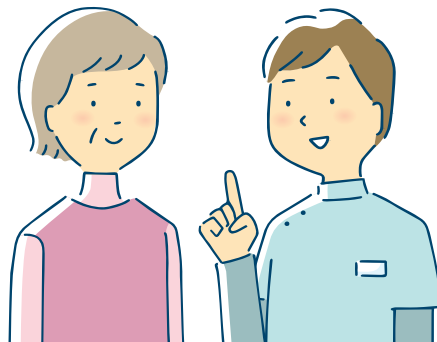


図1 ■年齢階級別就業率の推移^{●1}

療法士は病気や怪我で身体機能が低下してしまった人に対するリハビリテーションを行う専門家という印象が強いのですが、近年ではその知識や技術を生かして労働災害予防や健康経営にも関わりを深めているようです。理学療法士は日常業務として転倒予防や歩行訓練などを行っていることから、高齢労働者の転倒災害の減少にも貢献できるのではないかと考えられます。

健康経営で高齢者も働きやすい職場環境を

健康経営とは従業員の健康保持・増進の取り組みが、将来的に収益性等を高める投資であるとの考えの下、健康管理を経営的視点から考え、戦略的に実践すること^{●4}と説明されています。この考えは米国から入ってきたようですが、国や地方自治体の後押しもあり、日本でも健康経営に取り組む企業が増えています。健康経営の1つの基準として「病気の治療と仕事の両立」も挙げられており、この点でも産業理学療法の活用が増えていくのではないのでしょうか。従業員の健康管理を「コスト」ではなく「将来への投資」と位置付けし直すこと^{●5}で、企業には高齢者にも働きやすい環境づくりの推進を期待したいところです。

- 1 厚生労働省 (2020)「令和二年版 高齢者白書高齢者白書」(https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2020/gaiyou/02pdf_indexg.html) 2020年9月15日)
- 2 厚生労働省 (2018)「平成30年労働災害発生状況の分析等」(<https://www.mhlw.go.jp/content/11302000/000555711.pdf>) (2020年9月15日)
- 3 山崎重人 (2017)「産業保健分野における理学療法の現状と展望」『理学療法学』44(5), 394-398
- 4 厚生労働省 (2020)「健康経営」(<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12201000-Shakaiengokuyokushougaiho/kenfukushibu-Kikakuka/0000157832.pdf>) (2020年7月9日)
- 5 坪井大和、中塚清将、福谷直人 (2018)「産業理学療法の現状とこれから」『理学療法兵庫』24, 22-28.